

令和 8 年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	創生みはら
議 員 名	分野達見、中重伸夫
議員派遣先名	リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿 7-21-3）

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
研修・研究費	90,000 円	AI を使った議員活動実践講座 (@15,000 円×3 コマ×2 人)
	162,640 円	旅費
合 計		252,640 円

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

生成 AI を活用して、一般質問の強化の方法、予算・決算や各種の計画書の核心と、自治体の弱点をつかむ視点。公共施設の老朽化・再編・維持管理の論点を質問につなげる方法などの講義を受けた。

2 実施概要 （1 カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	リファレンス西新宿大京ビル
令和 8 年 8 月 4 日～5 日 10:00 ～ 16:00	担 当 部 局	
報 告 内 容 ・ 所 感	議員活動での生成 AI の活用策は、大量の情報収集を得て、一般質問のテーマの拡大や文書の作成、答弁に対する切り返しの想定問答、それらに要する時間の短縮が図れることが重要なメリットである。 （AI 活用の実践例） 質問 「三原市の 10 年後の人口は？そのデータの根拠は？」 ・10 年後の推定人口は約 7 万 1,000 人（国立社会保障・人口問題研究所が 2023 年	

報告内容・所感	発表)、三原市人口ビジョンでは 7 万 6,000 人までの減少予測。 「三原市の人口減少の影響を簡略に 3 パターン挙げて」 1. 地域経済が縮小 ・働く現役世代が減り、人手不足から企業の維持が難しい。 ・商業施設や飲食店が減少し、地域の経済力が低下する。 ・市民税の税収減から新たな投資の余裕がなくなる。 2. 生活インフラの維持が困難 ・上水道や下水道の維持費負担増。 ・医療介護従事者の不足で、医療や介護のサービス不足が予測される。 3 空き家の増加 ・空き家が増えて倒壊のリスクと防災や治安が低下する。 ・祭りや地域の清掃活動が困難になる。 再質問 「人手不測の 10 年後の影響は？」 ・生産年齢人口が現在の約 44,700 人から約 38,800 人に減少するため、購買力消費力が低下して、経済力が弱まる。 ・介護従事者は、現在の担い手不足約 2,600 人から 5,850 人の不足となり、サービスを受けたくても受けられない困難な状況を迎える。 ・市民税の税収減は、現在を 100 として 10 年後はどれ位？ ・87～92 が予測され、公共インフラの整備や維持管理、新たな投資が難しくなる。 ☆以上のような質問や想定答弁が、具体的な数値を基に作成することができる。 ☆その他にも、市の財政資料から経常収支比率や実質公債費比率、将来負担比率の「安全、注意、危険」の判定などの情報把握。 ☆公共施設の老朽化、再編、維持管理の論点を質問につなげる。 など、議員活動への生成 AI の活用は、利便性・有効性から必要不可欠と感じた。
---------	---

市政に活かせること（まとめ）	生成A I の活用は、利便性・有効性から必要不可欠と感じた。一方で議員活動として活用するには、次のような点に注意する必要があることを認識しておかなければならない。 ☆AI に答えさせるためのプロンプト（入力条件提示）を充実させないと、AI はそれらしく適当に答えること。 ☆AI は予測で答える仕組み。ハルシネーション（もっともらしく、自信満々に間違える）道具と理解して、AI の評価をうのみにしないこと。 ☆個人情報や非公開資料は入力してはならない。 ☆A I は種類も豊富で、それぞれ長所短所がある。無料プランや有料プラン（月3,000 円程度）もあるが、議会でのA I 利用のルールを確立することが大前提となる。 ☆一般質問などの作成には、議員側に極めて有効で必要不可欠なツールであるが、今後は執行部側でも生成A I を活用した答弁作成等も予測される。質問と答弁がA I 対A I の対抗になった先の合意形成をどうするか、考えていかなければならない。
-----------------------	--

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。



基礎から学ぶ

AI

を使った
議員活動実践講座

京都 | 7月22日 （土） / 東京 | 8月4日 （土）

質問編 — 10:00～12:30

- AIで一般質問のテーマを上げる方法
- 住民相談や地域課題を質問に変える視点
- 執行部に聞く質問文を組み立てるコツ
- 再質問や切り返しをAIで準備する方法
- 質問の質を高めるためのAI活用の留意点

財政分析編 — 13:30～16:00

- 予算書・決算書をAIで読み解く基本
- 財政資料から異変や課題を見つける視点
- 数字を比較して政策課題を整理する方法
- 一般質問につながる財政分析の進め方
- AIを使う際に押さえてはいけない確認ポイント

京都 | 7月23日 （日） / 東京 | 8月5日 （日）

公共施設編 — 10:00～12:30

- 公共施設の課題をAIで整理する方法
- 歴史的・発展・維持管理の観点をつかむ視点
- 学校・庁舎・公民館など施設別の見方
- 公共施設マネジメントを質問につなげる方法
- 住民目線で施設課題を把握するコツ

資料活用編 — 13:30～16:00

- 行政資料をAIで素早く整理する方法
- 長い資料から要点を抜き出す実践方法
- 議会等許可資料の比較整理の進め方
- 職務活動報告書や視察資料への活用方法
- 情報の正確性を担保するチェックの考え方

元・文野市議会議員、元・文野市財政課職員
黒瀬 雄大 （くろせ ゆうだい）

大阪府文野市役所（庶務室 総務課 広報課）
文野市議会議員（上野）
民間企業勤務（ITコンサルティング・データサイエンティスト）

九州大学経済学部（経済学士）
九州公立大学大学院経済学研究科（都市政策専攻）
九州大学大学院経済学系（経済学）
自由民主党福岡県支部にて顧問
得意分野は行政事務、データが得意